

平成 21 年度事業報告

新築移転計画の遂行に関しては、建物の設計・施工を始めとした各種課題について、スケジュール通りの進捗を実現した。

研究活動に関しては、Shinken Database を用いた研究の結果、日本循環器学会総会において計 34 題が演題採択され、また英文原著として 7 論文を公表するなどの成果を得た。

付属病院の運営に関しては、医療の質の向上など、年度始に掲げた 6 点の重点課題に対し、積極的な取り組みを行った。

【新築移転関係】

新築移転計画の円滑な遂行に向けて、以下の検討を行なった。

1. 建物の設計・施工

建物の設計内容を確認した上で、平成 21 年 8 月に建築工事に着工し、平成 21 年度中の建築工事の工程は予定通り進捗した。

2. 医療機器・什器備品の選定

新棟の設計・施工に影響を与える大型医療機器のうち、移転と同時に更新するものについて、最終候補機種の選定を行った。

3. 新病院情報システムの構築

新病院情報システムの稼働に向けた検討を完了し、当初予定を前倒しして平成 22 年 2 月より稼働を開始した。

また新築移転に係る資金計画に関して、予算策定後の資材価格の変動や周辺環境に配慮した設計の見直しなどにより、計画当初の見通しよりも費用面の増額が必要となったが、第一生命保険より追加寄付を頂いたことにより、対処することができる見込みとなった。

なお、新築移転後の付属病院の名称について、「(財)心臓血管研究所付属病院 心研循環器センター」とするべく当局と折衝を行ったが、当該名称の使用許可を得る見通しが立たないこと、また、他に適当な名称の候補を得るに至らなかったこと、を勘案し、従来通り「(財)心臓血管研究所付属病院」とした。

【研究活動】

心研の研究活動は、研究本部が管轄する組織研究活動と所属研究員の個別の理念に基づく個別研究とで構成される。

1. 組織研究活動の推進

付属病院を有する研究所としての利点を生かした組織研究の中核に日本人循環器疾患患者の臨床データベース構築をおき、現状での循環器医療が解決すべき課題を明確にすると共に、新たな医療の開発を推進している。臨床データベース室が構築を進めてきたコホート研究である Shinken Database に関しては、毎年患者数が増加すると同時に観察期間が延長している。これら蓄積されたデータを用いた研究として、平

成 22 年 3 月に開催された日本循環器学会総会において計 34 題が演題採択され、平成 21 年度に原著論文(英文)として 7 論文を公表した。

(1) Shinken Database 構築に関する活動

臨床データベースユニットでは、平成 16 年より開始した事業である Shinken Database に関するデータの収集・整備を行った。Shinken Database は、本邦における循環器疾患患者の mortality および morbidity を明らかにするために構築された前向きコホート研究であり、現在日本で最大級の病院データベースとなった。本年度において Shinken Database 2004-2008 (2004 年 6 月分～2009 年 3 月分)の、同意を取得した患者(11,123 名)に対する、カルテ、封書、電話による予後調査を実施し、各研究ユニットで専門領域に応じた解析を行った。

(2) 各研究ユニットの活動

不整脈ユニット

臨床データベースユニットより供与された Shinken Database 2004-2008 を用いて、本邦心房細動患者の mortality および morbidity に関する解析を行った。本データは日本における心房細動患者の標準的治療、ならびにその予後を明らかにしようとするものであり、Shinken Database 2004-2008 には 1,578 例の心房細動患者が含まれている。これらの患者を対象として、慢性腎臓病の意義(CKD)、メタボリック症候群の意義を検討した。CKD の存在は、現在心房細動患者の脳梗塞リスクスコアとして知られる CHADS2 スコアと独立した脳梗塞危険因子として同定された。一方、メタボリック症候群の一規定因子である腹囲は、心房細動の独立した危険因子でないことが確認された。その他に、スタチン治療の限界、抗凝固療法に伴う心血管事故などに関する報告を含め、平成 22 年の日本循環器学会において計 19 題の演題発表を行った。

<平成 22 年日本循環器学会>

1. Yamashita T. Relationships Between Statin Use and Clinical Outcome of Patients with Atrial Fibrillation-From a Real-world Analysis of Shinken Database 2004-2008
2. Yamashita T. The Effect of Hyperuricemia on Prevalence of Atrial Fibrillation-From Shinken Database 2004-2008
3. Yamashita T. Characteristic Patterns of PT-INR Movement in NVAF Patients with Thrombotic/Hemorrhagic Events-From Shinken Database 2004-2008
4. Yamashita T. Characteristic Patterns of PT-INR Distribution of Patients Under Anticoagulation Therapy with Thrombotic/Hemorrhagic Events-From Shinken Database 2004-2008
5. Yamashita T. Effects of Smoking Habits and Its Consumption on Prevalence of Atrial Fibrillation-From Shinken Database 2004-2008
6. Suzuki S. Relationships Between Oxidant Stress and Atrial Fibrillation

- in Japanese Patients-From Shinken Database 2008
7. Suzuki S. The Impact of Waist Circumference and Metabolic Syndrome Components on Atrial Fibrillation in Japanese Outpatients-From Shinken Database 2008
 8. Suzuki S. Relationships Between HbA1c Value and Prognosis of Atrial Fibrillation-A Prospective Cohort Study of Shinken Database 2004-2007
 9. Suzuki S. Combined Effects of CHADS2 Score and Chronic Kidney Disease on Mortality of Atrial Fibrillation
 10. Suzuki S. The Impact of Rate Control Medications on Prognosis for Persistent/Permanent AF-From Shinken Database 2004-2008
 11. Suzuki S. The Role of Chronic Kidney Disease on Anticoagulation of Atrial Fibrillation Patients with Low-Moderate Risks for Thromboembolism
 12. Suzuki S. PT-INR Distribution Under Anticoagulation Therapy During the First Year After Initial Visit in Japanese NVAF Patients-From Shinken Database 2004-2008
 13. Suzuki S. Distribution of Warfarin Dose and Its Effects on Thrombotic/Hemorrhagic Events in Japanese AF Patients-From Shinken Database 2004-2008
 14. Asada I. Pacemaker Implantation in Japanese Patients with Sick Sinus Syndrome from a Prospective Hospital Cohort Study of Shinken Database 2004-2008
 15. Asada I. Characteristics and Mortality of Japanese Patients Taking Antiarrhythmic Drugs from a Prospective Hospital Cohort Study of Shinken Database 2004-208
 16. Asada I. Prognosis of Japanese Patients with Atrioventricular Block from a Prospective Hospital Cohort Study of Shinken Database 2004-2008
 17. Shoji M. What is the Appropriate Initial Dose of Warfarin in Initiating Anticoagulation in Japanese Patients with Atrial Fibrillation ?
 18. Shoji M. Prediction of Therapeutic Dose of Warfarin by Initial PT-INR Under Small Dosing
 19. Hayama E. Role of Ventricular Tachycardia in Mortality of Japanese Patients with Low EF-From Shinken Database 2004-2008
- <平成 21 年度原著論文(英文)>
1. Suzuki S, et al. Treatment Strategy and Clinical Outcome in Japanese Patients with Atrial Fibrillation. Heart and Vessels 2009; 24:287-293
 2. Suzuki S, et al. Body Size and Atrial Fibrillation in Japanese Outpatients. Circ J 2010;74:66-70

心不全ユニット

臨床データベースユニットから供給された Shinken Database 2004-2008 を用い、本邦の心不全患者の mortality と morbidity に関する解析を行った。Shinken Database 2004-2008 では、1,543 例が心不全 (NYHA 機能分類 II ~) と診断された。心不全の重症度が高まるほど BNP は高値を示し (NYHA 機能分類 II 度 : 258.6 ± 357.5 pg/ml、III 度 : 711.8 ± 871.1 pg/ml、 度 : 1074.0 ± 948.1 pg/ml) ROC 曲線の解析からは、死亡率に関して 487 pg/ml、心不全入院に関して 291 pg/ml がそのカットオフ値として示された。また 1,543 例の心不全患者のうち 1,012 例は左室収縮能が保たれており、これらの症例は左室収縮能低下例に比し、高齢者、女性に多く、BNP 低値という特徴を有しており、生命予後が良好であることが示された。近年酸化ストレスのマーカーとしてイソプラスタンが注目されており、Shinken Database 2008 の対象患者で尿中イソプラスタンと心不全の関係を検討したところ、心不全患者は尿中イソプラスタン濃度が有意に高いことが明らかとなった。これらの研究結果を平成 22 年 3 月の日本循環器学会において発表した。

<平成 22 年日本循環器学会>

1. Semba H, et al. Outcome of Heart Failure with Preserved Ejection Fraction in a Prospective Hospital Cohort Study of Shinken Database 2004-2008.
2. Semba H, et al. Current Status of Mortality and Morbidity of Dilated Cardiomyopathy in Japanese from a Prospective Cohort Study of Shinken Database 2004-2008.
3. Semba H, et al. Prognosis of Heart Failure with Chronic Kidney Disease in a Prospective Hospital Cohort Study of Shinken Database 2004-2008.
4. Kishi M, et al. Significance of Brain Natriuretic Peptide in Japanese Outpatients with Heart Failure in a Prospective Hospital Cohort Study of Shinken Database 2004-2008
5. Masuda K, et al. Impact of Heart Failure without Atrial Fibrillation on Incidence of Thromboembolic Events
6. Masuda K, et al. Impact of Statin Therapy on Heart Failure Worsening in Japanese Patients
7. Masuda K, et al. Prognostic Role of Statin Therapy in Japanese Patients with Heart Failure-Role of Ischemic Heart Diseases
8. Masuda K, et al. Association Between Hyperuricemia and Prognosis in Japanese Patients with Heart Failure (HF)

<平成 21 年度原著論文(英文)>

1. Goda A, et al. Prevalence and Prognosis of Patients with Heart Failure in Tokyo -A Prospective Cohort of Shinken Database 2004-5. Int Heart J 2009;50:609-625

2. Goda A, et al. Heart Failure with Preserved Versus Reduced Left Ventricular Systolic Function -A Prospective Cohort of Shinken Database 2004-5. Journal of Cardiology 2010;55:108-116

冠動脈疾患ユニット

本ユニットでは、臨床データベースユニットより供与された Shinken Database を用いて、本邦冠動脈疾患患者の様々な因子に関する予後調査を行ってきた。冠動脈危険因子の中でもコレステロール値が注目されてきたが、近年、総コレステロール値よりも、LDL コレステロールと HDL コレステロールの比 (L/H 比) がより鋭敏に冠動脈疾患発症の予測因子となり得るとの報告が見られたため、2009 年度は、Shinken Database 2004-2008 に登録された冠動脈疾患患者 1,364 名について、L/H 比検討したところ、Major Adverse Cardiac Event 発症の独立した因子になり得ること、またそのカットオフ値は 2.29 であることが示された。これらの結果を、平成 22 年の日本循環器学会において演題発表を行った。

<平成 22 年日本循環器学会>

1. Matsuno S. Long-term Prognosis and Its Predictors of Mortality in Japanese Patients with Ischemic Heart Disease.
2. Matsuno S. The Impact of LDL-cholesterol / HDL-cholesterol Ratio on the Incidence of Cardiovascular Events in Patients with Ischemic Heart Disease
3. Matsuno S. The Impact of LDL-cholesterol / HDL-cholesterol Ratio on the Incidence of Cardiovascular Events in Patients without Ischemic Heart Disease.

<平成 21 年度原著論文(英文)>

1. Nakamura M, et al. Impact of Reduced Renal Function on Prognosis in Japanese Patients with Coronary Artery Disease-A Prospective Cohort of Shinken Database 2007. Hypertens Res 2009;32:920-926
2. Nakamura M, et al. Long-term Safety and Efficacy of Sirolimus-eluting Stents in Japanese Patients -A Single-Center Cohort Study. J Invasive Cardiol 2009;21:526-531
3. Nakamura M, et al. Clinical Outcome After Acute Coronary Syndrome in Japanese Patients-An Observational Cohort Study. Journal of Cardiology 2010;55:69-76

外科ユニット

外科分野においても症例データを集積中であるが、対象患者の絶対数との関係でデータ解析は今後の課題である。

(3) 治験・臨床試験への取り組み

臨床試験ユニットにおいて平成 21 年度に行った臨床試験は、9 つの治験 (TRE-956 (薬剤溶出型ステント) 継続試験、SR25990C 第 相試験、PLATINUM (薬剤溶出型ステント) 試験、DU-176 b 第 相国際共同治験、Apixaban (急性冠症候群対象) 後期第 相試験、MDT-4107 (薬剤溶出型ステント) 12 ヶ月・継続試験、NTC-801 第 相試験、PLATINUM Japan SV (薬剤溶出型ステント) 試験) と平成 18 年度より継続している 2 つの医師主導型臨床試験 (J-RHYTHM II、J-PPP) および J-RHYTHM Registry、RESET である。このうち、日本心電学会主催の J-RHYTHM II 試験では、患者登録施設としてのみならず、試験全体の事務局業務を行った。

治験においては、平成 20 年度より虚血性心疾患領域の治験依頼が飛躍的に増加し、不整脈領域でも治験依頼が継続して要請されている (平成 22 年 4 月末時点では、計 4 つの新規治験受託予定)。最近数年間の高い症例登録達成率がこれらの要請を増加させている。下記に各試験の登録状況および結果を示す。

< 治験 >

- TRE-956 (薬剤溶出型ステント) 継続試験: 患者登録 5 例 (第 相を終了し適格性が認められ、同意取得した症例)
- Apixaban (急性冠症候群対象) 後期第 相試験 (2009/4/6 ~ 2010/5/31): 患者登録 5 例 (契約 6 例)
- SR25990C 第 相試験 (2008/12/18 ~ 2010/4/16): 患者登録 4 例 (契約 16 例)
- PLATINUM (薬剤溶出型ステント) 試験 (第 相・国際共同) (2009/2/26 ~ 予定症例数に達し次第終了): 患者登録 10 例 (契約 10 例)
- DU-176 b 第 相国際共同治験 (2009/3/18 ~ 2011/1/31): 患者登録 11 例 (契約 10 例+5 例追加 = 15 例)
- MDT-4107 (薬剤溶出型ステント) 12 ヶ月試験 (2009/5/7 ~ 2009/11/30): 患者登録 5 例 (契約 5 例)
- MDT-4017 (薬剤溶出型ステント) 継続試験 (2009/10 ~ 2010/12): 患者登録 4 例 (12 ヶ月試験に参加し、再同意取得した症例)
- NTC-801 第 相試験 (2009/6/29 ~ 2010/1/31): 患者登録 4 例 (契約 4 例)
- PLATINUM Japan SV (薬剤溶出型ステント) 試験 (2010/2/10 ~ 2010/10/30): 患者登録 1 例 (契約 4 例)

< 医師主導型臨床試験 >

- J-RHYTHM II 試験 (2006/9 ~ 2008/9): 患者登録 25 例
- JPPP 試験 (2005/3 ~ 2007/6): 患者登録 34 例
- J-RHYTHM Registry (2009/2/10 ~ 2009/2/28): 患者登録 100 例
- RESET (2010/2 ~ 2010/10): 患者登録 7 例

* () 内は登録期間、継続中の試験は 2010 年 4 月末現在の実績

臨床試験管理室においては、厚生労働省の臨床研究に関する倫理指針の改正に合わせ、研究者への改正内容等を伝達するとともに、改正指針に沿った臨床研究の実施体制の整備を行っており、指針に合わせてCRCの臨床研究への介入の場も広がっている。平成21年度は、治験依頼の増加、臨床研究支援に伴うマンパワー不足を解消するため、嘱託CRCの雇用を行った。

< 臨床試験事務局・参加医師としての平成21年度原著論文(英文) >

1. Yamashita T, et al. Dose-Response Effects of Bepridil in Patients with Persistent Atrial Fibrillation Monitored with Transtelephonic Electrocardiograms -A Multicenter, Randomized, Placebo-controlled, Double-blind Study (J-BAF Study) *Circ J* 2009;73: 1020-1027
2. Aizawa Y, et al. Comparison of Antiarrhythmics Used in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation -Subanalysis of J-RHYTHM Study. *Circ J* 2010;74:71-76

(4) 基礎研究への取り組み

心房細動の基礎病態として、心不全、高血圧、糖尿病などの重要性が指摘されると同時に、全身の炎症性疾患の一病態として心房細動が位置づけられるようになりつつある。本年度は、手術摘出左心耳標本およびラットモデルを対象として、心房に含まれるimmune cell分布と心房線維化の関係を報告した。本年度より開始した、心房筋に含まれる免疫細胞をフローサイトメトリー法により定量化する試みについてはまだいくつかの困難な点があり、成功に至っていない。平成22年日本循環器学会で計4題の演題を発表した。

< 平成22年日本循環器学会 >

1. Sekiguchi A. Olmesartan Reduces Infiltration of Macrophages in Normotensive and Hypertensive Rat Atria-Evidence for Inflammation Reduction by ARB
2. Sekiguchi A. Localization and Cellular Characteristics of Fibroblast in Human Atria with Fibrillation-A Novel Insight into Atrial Fibroblast
3. Date T. Chronic Inflammation in the Fibrillated Atria-A Novel Therapeutic Target for the Progression of Atrial Myocardial Injury
4. Okazaki R. Promotion of Macrophage Infiltration and Fibrosis in Young Diabetic Rat Atria

< 平成21年度原著論文(英文) >

1. Date T, et al.. Infiltration of Macrophages Through the Atrial Endocardium of Inflammation-induced Rats -Contribution of Fractalkine-. *Circ J* 2009;73:932-937
2. Yamashita T, et al. Recruitment of Immune Cells Across Atrial Endocardium in Human Atrial Fibrillation. *Circ J* 2010;74:262-270

3. Okazaki R, et al. Lipopolysaccharide Induces Atrial Arrhythmogenesis Via Down - Regulation of L- Type Ca²⁺ Channel Genes in Rats. Int Heart J 2009;50:353-363

2. 個別研究活動における研究業績

個別研究活動における、原著論文、学会・研究会活動に関しても国際・国内それぞれにおいて活発な実績が示された。

個別の業績は巻末に掲載の研究業績一覧のとおりである。

【付属病院】

付属病院においては、「医療の質の向上」「患者サービスの向上」「診療連携活動の強化」などの重点課題に、積極的に取り組んだ。

また、21年度も例年同様、わが国の循環器医療の将来を担う若手専門医の育成をめざし、循環器を志す研修医を3名受け入れ、臨床および研究の教育・指導にあたった。

<平成21年度 主な診療実績>

延べ患者数及び診療収入

部 門	患 者 数		診 療 収 入	
	人 数 (名)	前 年 比 (%)	金 額 (千 円)	前 年 比 (%)
外 来	62,619	94.8	1,090,478	100.9
入 院	19,643	103.4	3,141,709	104.2
合 計	82,262	96.6	4,232,187	103.3

内科部門

心臓カテーテル治療	件数(例)	対前年比(%)
PCI・PTA等	622	102.8
ABL	197	117.3

外科部門

手 術 区 分		件数(例)	対前年比(%)
心臓手術	虚血性心臓病	60	125.0
	弁膜症	88	83.8
	その他	55	103.8
非心臓手術	ペ・スメ・カ・・ICD	142	110.1
	その他	60	101.7

主要検査

検査区分	件数(例)	対前年比(%)
心臓カテーテル検査(CAG)	1,064	101.6
E P S	15	100.0
R I in·v i v o	922	99.8
トレッドミル	2,464	77.1
心臓超音波	8,381	98.7
C T	1,616	109.4
M R I	730	79.6
ホルター	1,783	83.6

1. 医療の質の向上

循環器専門病院として、患者さんから信頼される病院を目指し、以下の取り組みを実施した。

既存のクリニカルパスの見直しを随時行い、内容の改善を図った。また、患者さん向けパスを見直し、よりわかりやすい内容となるよう改善を図った。

褥瘡対策委員会による院内セミナーの開催(2回)、および褥瘡対策委員による持ち込み褥瘡への処置方法の助言、などを行い、褥瘡対策の改善を図った。

臨床検査適正化委員会において、検体検査精度の定期的確認、検体検査項目の廃止および追加、などを行い、検体検査全般の向上を図った。

生理機能検査においては、検査方法の定期的な見直し、および必要に応じた機器の更新、を行い、診断・評価能力の向上を図った。

2. 医療安全の向上

- (1) 医療安全管理委員会を中心に、院内における要注意事項を収集・分析し、業務手順の見直しなど、医療事故の発生防止に向けた取り組みを行った。
- (2) 医療安全に関する職員教育の一環として、全職員を対象に医療安全に関する研修を2回開催した。
- (3) 院内感染対策委員会を中心に、新型インフルエンザへの対応策の徹底、手術部位感染防止に関する院内セミナーの開催、手洗いキャンペーンの実施、などを行い、院内感染の防止に努めた。
- (4) 薬事委員会を開催し、新規採用薬剤の厳正な審査、及び副作用・安全使用の観点から、患者のリスク低減に向けた薬剤切り替え、などを適切に推進した。

3. 患者サービスの向上

- (1) 入院患者食についてアンケート調査を実施し、その結果を食材・献立・味付け等の改善に役立て、満足度の向上に努めた。
- (2) 院内の「ご意見箱」に寄せられた患者さんからのご意見、および患者サービス向上

の観点における職員からの意見、について、サービス向上委員会にて具体的対応策を検討・実施し、患者サービスの向上に努めた。

- (3) 顧客満足度の向上をテーマにした社外講師による研修を、4月から9月にかけて計6回実施し、職員の患者サービスに対する意識の向上を図った。

4. 診療連携活動の強化

- (1) 診療連携実績に基づく対応策の検討・実施、病院長および診療連携室スタッフなどによる訪問活動の実施、診療連携懇親会の開催、などにより、紹介元医療機関との関係強化を図った。
- (2) 港区医師会の連絡協議会に参加するなど、地域医療機関との関係強化を図った。

5. 地域との連携の強化

- (1) 移転先周辺地域の住民向けに移転計画の説明会を開催し、移転計画へのご理解および建築工事期間中のご協力を依頼した。
- (2) 地域医療機関を対象とした、CTやMRIなどの検査機器の共同利用の促進、勉強会の開催、などにより、連携の強化を図った。

6. 収支の改善

- (1) 使用材料について、ディーラーのみならず主要メーカーへも材料費圧縮の協力を要請し、購入量に見合った購入価格での調達を継続した。
- (2) 各種委託業務の見直しを行い、委託費の削減を行った。

7. その他の主要な活動

- (1) 積極的な医療技術の交流を目的とした「六本木ライブデモンストレーション 2009」(注)の開催を支援した。

(注)六本木インターベンション研究会(代表世話人:矢嶋純二)が主催。循環器内科領域や心臓血管領域におけるインターベンション治療の臨床的研究の推進とその成果の普及を図り、広く地域医療の発展に寄与することを目的とする。

- (2) 講習会・勉強会等の主催

「六本木エコー」(勉強会)の主催

他施設の技師を交え、循環器疾患に対する知識向上と心臓超音波検査(心エコー)技術の向上を目的に症例検討・知識交流会を開催した。

A E D(除細動器)活用普及に向けた講習会の実施

院外突然死の減少を目的とし、患者、患者家族、および近隣住民を対象としたA E D(除細動器)や心臓マッサージの講習会を開催した。

研修生・見学者の受け入れ

医療技術の交流と普及に貢献すべく、外部からの研修生や見学者を積極的に受け入れた。

平成21年度収支決算

[収支の概要]

1. 事業活動収支の部

収入面では、「診療事業収入」は対予算4,419万円減の42億3,044万円、「研究受託収入」は対予算1,612万円減の5,077万円であった。「寄付金収入」は第一生命保険より、新築移転資金として、15億円の追加寄付を頂いたことにより23億2,710万円となった。その結果「事業活動収入」は対予算14億5,286万円増の66億7,171万円となった。

一方、支出面では引き続き、費用の縮減に取り組み、「事業費支出」の「人件費支出」が対予算2,635万円減、「材料費支出」が対予算2,221万円減、「委託費支出」が対予算3,582万円減などにより、「事業活動支出」合計では45億510万円と予算を1億94万円下回った。

以上の結果、「事業活動収支差額」は、予算を15億5,380万円上回る21億6,660万円となった。

2. 投資活動収支の部

「投資活動収入」は「特定資産取崩収入」が対予算7,249万円増の12億2,979万円となった。

「投資活動支出」では、新築移転資金の内部留保のため「特定資産取得支出」として予算を上回る17億円を積み増しした。「固定資産取得支出」は、対予算2億8,850万円減となり、「投資活動支出」合計は対予算11億1,223万円増の27億2,473万円となった。

以上により「投資活動収支差額」は 14億9,494万円となった。

上記の結果、当期収支差額は、6億7,166万円となり、前期繰越収支差額の6億8,777万円を加えた次期繰越収支差額は13億5,943万円となった。

貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	1,255,089,377	541,581,483	713,507,894
医業未収金	709,901,684	643,890,763	66,010,921
貸倒引当金	158,146	136,860	21,286
未収金	1,068,239	1,239,252	171,013
医薬品	30,628,989	31,163,448	534,459
貯蔵品	56,950	45,590	11,360
前払費用	8,495,425	7,913,879	581,546
未収収益	6,015,081	8,782,800	2,767,719
その他の流動資産	694,863	716,285	21,422
流動資産合計	2,011,792,462	1,235,196,640	776,595,822
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	2,811,030,355	2,811,030,355	-
預金	31,140,000	31,140,000	-
投資有価証券	809,118,128	808,878,513	239,615
基本財産合計	3,651,288,483	3,651,048,868	239,615
(2) 特定資産			
退職給付引当特定資産	115,788,138	119,459,281	3,671,143
医療用設備投資引当特定資産	4,806,372,376	4,325,442,820	480,929,556
特定資産合計	4,922,160,514	4,444,902,101	477,258,413
(3) その他固定資産			
有形固定資産			
建物	4,520,592,817	4,520,277,817	315,000
建物減価償却累計額	3,553,041,850	3,475,306,186	77,735,664
医療用器械備品	2,087,465,825	1,997,741,193	89,724,632
医療用器械備品減価償却累計額	1,882,343,902	1,837,347,579	44,996,323
その他器械備品	214,246,911	224,647,746	10,400,835
その他器械備品減価償却累計額	204,414,867	211,574,195	7,159,328
土地	4,913,273,372	4,913,273,372	-
建設仮勘定	693,000,000	-	693,000,000
有形固定資産合計	6,788,778,306	6,131,712,168	657,066,138
無形固定資産			
ソフトウェア	207,888,927	36,237,507	171,651,420
その他の無形固定資産	159,120	64,400	94,720
無形固定資産合計	208,048,047	36,301,907	171,746,140
その他の資産			
敷金	870,000	870,000	-
破産更正債権等	1,086,490	1,842,620	756,130
貸倒引当金	1,086,490	1,842,620	756,130
その他の資産合計	870,000	870,000	-
その他固定資産合計	6,997,696,353	6,168,884,075	828,812,278
固定資産合計	15,571,145,350	14,264,835,044	1,306,310,306
資産合計	17,582,937,812	15,500,031,684	2,082,906,128

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
負債の部			
1. 流動負債			
買 掛 金	458,632,790	372,233,238	86,399,552
未 払 金	150,413,802	126,886,281	23,527,521
前 受 金	1,853,200	6,197,230	4,344,030
預 り 金	10,701,491	10,830,847	129,356
賞 与 引 当 金	79,050,969	76,473,622	2,577,347
そ の 他 の 流 動 負 債	70,000	70,000	-
流動負債合計	700,722,252	592,691,218	108,031,034
2. 固定負債			
長 期 未 払 金	59,447,435	65,537,078	6,089,643
退 職 給 付 引 当 金	587,066,238	556,065,512	31,000,726
固定負債合計	646,513,673	621,602,590	24,911,083
負債合計	1,347,235,925	1,214,293,808	132,942,117
正味財産の部			
1. 指定正味財産	-	-	-
指定正味財産合計	-	-	-
(うち基本財産への充当額)	(-)	(-)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(-)	(-)	(-)
2. 一般正味財産	16,235,701,887	14,285,737,876	1,949,964,011
(うち基本財産への充当額)	(3,651,288,483)	(3,651,048,868)	(239,615)
(うち特定資産への充当額)	(4,806,372,376)	(4,325,442,820)	(480,929,556)
正味財産合計	16,235,701,887	14,285,737,876	1,949,964,011
負債及び正味財産合計	17,582,937,812	15,500,031,684	2,082,906,128

正味財産増減計算書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10,003,518	10,275,780	272,262
基本財産受取利息	(9,883,518)	(10,155,780)	(272,262)
基本財産受取賃借料	(120,000)	(120,000)	(-)
特定資産運用益	37,840,943	47,728,756	9,887,813
特定資産受取利息	(37,840,943)	(47,728,756)	(9,887,813)
診療事業収益	4,230,442,053	4,081,637,966	148,804,087
入院診療収益	(2,992,898,264)	(2,869,705,283)	(123,192,981)
室料差額収益	(148,810,920)	(143,773,580)	(5,037,340)
外来診療収益	(1,090,478,511)	(1,080,692,740)	(9,785,771)
保健予防活動収益	(57,881)	(1,096,825)	(1,038,944)
その他の医業収益	(9,110,490)	(8,942,660)	(167,830)
査定減	(10,914,013)	(22,573,122)	(11,659,109)
受取寄付金	2,327,100,000	829,680,000	1,497,420,000
一般研究受取寄付金	(10,200,000)	(18,380,000)	(8,180,000)
特定研究受取寄付金	(16,900,000)	(11,300,000)	(5,600,000)
指定受取寄付金	(2,300,000,000)	(800,000,000)	(1,500,000,000)
研究受託収益	50,779,487	67,712,164	16,932,677
貸倒引当金戻入収益	-	205,337	205,337
雑収益	25,103,841	41,711,892	16,608,051
受取利息	(1,403,910)	(1,758,702)	(354,792)
駐車場収益	(10,282,590)	(10,690,363)	(407,773)
土地貸付収益	(10,530,174)	(26,468,134)	(15,937,960)
雑収益	(2,887,167)	(2,794,693)	(92,474)
経常収益計	6,681,269,842	5,078,951,895	1,602,317,947
(2) 経常費用			
事業費	4,581,404,165	4,581,555,813	151,648
人件費	1,484,266,193	1,568,336,511	84,070,318
給料手当	(1,028,381,603)	(1,085,672,106)	(57,290,503)
賞与	(161,476,556)	(183,295,994)	(21,819,438)
賞与引当金繰入額	(77,145,688)	(74,722,088)	(2,423,600)
退職給付費用	(70,348,352)	(69,822,625)	(525,727)
法定福利費	(146,913,994)	(154,823,698)	(7,909,704)
材料費	2,115,246,708	1,988,405,873	126,840,835
医薬品費	(679,569,088)	(634,368,329)	(45,200,759)
診療材料費	(1,406,510,473)	(1,311,272,396)	(95,238,077)
医療消耗器具備品費	(15,402,662)	(29,296,233)	(13,893,571)
給食用材料費	(13,764,485)	(13,468,915)	(295,570)

正味財産増減計算書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
委 託 費	230,552,038	285,844,024	55,291,986
検査委託費	(64,352,337)	(67,041,683)	(2,689,346)
給食委託費	(30,618,000)	(32,903,850)	(2,285,850)
寝具委託費	(6,748,041)	(6,514,636)	(233,405)
医事委託費	(9,049,785)	(17,571,186)	(8,521,401)
清掃委託費	(39,736,945)	(46,752,402)	(7,015,457)
保守委託費	(43,577,070)	(53,428,684)	(9,851,614)
その他の委託費	(36,469,860)	(61,631,583)	(25,161,723)
設 備 関 係 費	362,853,605	360,898,267	1,955,338
減価償却費	(168,877,978)	(175,394,257)	(6,516,279)
器機賃借料	(29,068,484)	(28,413,189)	(655,295)
地代家賃	(31,554,983)	(28,686,346)	(2,868,637)
修繕費	(26,526,605)	(25,728,280)	(798,325)
固定資産税等	(33,909,800)	(30,528,800)	(3,381,000)
器機保守料	(72,346,795)	(71,276,075)	(1,070,720)
器機設備保険料	(568,960)	(871,320)	(302,360)
研 究 研 修 費	32,581,421	37,315,650	4,734,229
研究図書費	(3,156,330)	(3,643,952)	(487,622)
研修費	(29,425,091)	(33,671,698)	(4,246,607)
経 費	328,443,368	300,861,064	27,582,304
福利厚生費	(96,870,931)	(96,816,043)	(54,888)
旅費交通費	(26,398,427)	(24,915,998)	(1,482,429)
職員被服費	(9,263,562)	(10,584,398)	(1,320,836)
通信費	(6,520,383)	(6,570,951)	(50,568)
広告宣伝費	(3,301,251)	(3,097,156)	(204,095)
消耗品費	(20,451,453)	(21,680,681)	(1,229,228)
消耗器具備品費	(3,414,553)	(6,995,246)	(3,580,693)
水道光熱費	(71,396,858)	(76,464,096)	(5,067,238)
保険料	(989,912)	(998,292)	(8,380)
交際費	(1,621,921)	(2,062,877)	(440,956)
諸会費	(660,200)	(824,200)	(164,000)
租税公課	(8,448,900)	(4,987,800)	(3,461,100)
医業貸倒損失	(269,550)	(7,510)	(262,040)
貸倒引当金繰入額	(533,886)	(464,440)	(69,446)
雑費	(78,301,581)	(44,391,376)	(33,910,205)
受 託 研 究 費 等	27,390,832	39,824,424	12,433,592
研究受託費	(15,255,611)	(19,415,542)	(4,159,931)
特定研究寄付事業	(11,906,475)	(13,023,241)	(1,116,766)
研究助成事業	(-)	(4,936,994)	(4,936,994)
その他の研究費	(228,746)	(2,448,647)	(2,219,901)
法人税、住民税及び事業税負担額	70,000	70,000	-

正味財産増減計算書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	129,321,510	41,104,583	88,216,927
人 件 費	122,137,207	28,420,783	93,716,424
給料手当	(100,518,659)	(18,176,929)	(82,341,730)
賞 与	(3,748,703)	(3,372,464)	(376,239)
賞与引当金繰入額	(1,905,281)	(1,751,534)	(153,747)
退職給付費用	(7,606,374)	(2,109,916)	(5,496,458)
法定福利費	(8,358,190)	(3,009,940)	(5,348,250)
委 託 費	1,139,131	4,666,155	3,527,024
経 費	6,045,172	8,017,645	1,972,473
旅費交通費	(1,217,780)	(765,780)	(452,000)
会議費	(1,436,738)	(1,309,784)	(126,954)
保険料	(510,620)	(312,030)	(198,590)
支払利息	(2,782,734)	(5,523,041)	(2,740,307)
雑 費	(97,300)	(107,010)	(9,710)
経常費用計	4,710,725,675	4,622,660,396	88,065,279
当期経常増減額	1,970,544,167	456,291,499	1,514,252,668
2 . 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
基本財産交換益	-	-	-
固定資産交換益	-	-	-
土地交換差益	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	-	1,861,083	1,861,083
固定資産除却損	20,580,156	823,714	19,756,442
経常外費用計	20,580,156	2,684,797	17,895,359
当期経常外増減額	20,580,156	2,684,797	17,895,359
当期一般正味財産増減額	1,949,964,011	453,606,702	1,496,357,309
一般正味財産期首残高	14,285,737,876	13,832,131,174	453,606,702
一般正味財産期末残高	16,235,701,887	14,285,737,876	1,949,964,011
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	16,235,701,887	14,285,737,876	1,949,964,011

キャッシュ・フロー計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	1,949,964,011	453,606,702	1,496,357,309
2. キャッシュ・フローへの調整額			
減価償却費	168,877,978	175,394,257	6,516,279
基本財産の増減額（土地）	-	-	-
基本財産の増減額（投資有価証券）	239,615	232,670	6,945
その他の固定資産の増減額（土地）	-	-	-
その他の固定資産の増減額（投資有価証券）	7,052,600	5,635,456	1,417,144
退職給付引当金の増減額	31,000,726	39,837,541	8,836,815
賞与引当金の増減額	2,577,347	9,223,308	11,800,655
医業未収金にかかる貸倒引当金の増減額	21,286	240,877	262,163
医業未収金・未収金の増減額	65,839,908	32,626,056	98,465,964
前払費用・未収収益の増減額	2,186,173	2,653,669	467,496
仮払金の増減額	21,422	856,932	835,510
棚卸資産（医薬品・貯蔵品等）の増減額	523,099	2,450,146	2,973,245
買掛金・未払金の増減額	109,927,073	82,479,409	192,406,482
前受金の増減額	4,344,030	3,133,030	1,211,000
預り金の増減額	129,356	847,324	717,968
固定資産除却損	20,580,156	823,714	19,756,442
小計	2,208,073,762	601,556,651	1,606,517,111
3. 指定正味財産増加収入	-	-	-
指定正味財産増加収入計	-	-	-
事業活動によるキャッシュ・フロー	2,208,073,762	601,556,651	1,606,517,111
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	110,000,000	110,000,000
特定資産取崩収入	1,229,794,187	2,532,286	1,227,261,901
投資活動収入計	1,229,794,187	112,532,286	1,117,261,901
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	0	110,000,000	110,000,000
特定資産取得支出	1,700,000,000	300,000,000	1,400,000,000
固定資産取得支出	1,018,270,412	64,917,676	953,352,736
投資活動支出計	2,718,270,412	474,917,676	2,243,352,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,488,476,225	362,385,390	1,126,090,835
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	-	-	-
2. 財務活動支出			
長期未払金振替支出	2,418,500	11,455,500	9,037,000
長期未払金支払支出	3,671,143	2,532,286	1,138,857
財務活動支出計	6,089,643	13,987,786	7,898,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,089,643	13,987,786	7,898,143
現金及び現金同等物に係る換金差額	-	-	-
現金及び現金同等物の増減額	713,507,894	225,183,475	488,324,419
現金及び現金同等物の期首残高	541,581,483	316,398,008	225,183,475
現金及び現金同等物の期末残高	1,255,089,377	541,581,483	713,507,894

(注) 1 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

2 重要な非資金取引 特になし。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

平成18年度から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用しています。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 ... 償却原価法(定額法)によっています。(国庫短期証券を除く。)

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産 ... 最終仕入原価法によっています。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 ... 定率法によっています。

無形固定資産 ... 定額法によっています。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金 ... 医業未収金等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金 ... 職員等に対する賞与の支払にあてるため、将来の支払見込額のうち当期に発生した額を計上しています。

退職給付引当金 ... 役員等退職金支出に備えるため、職員退職慰労金規程等に基づく期末要支給額に相当する金額を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額およびその残高

基本財産及び特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりです。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	2,811,030,355	-	-	2,811,030,355
預 金	31,140,000	-	-	31,140,000
投資有価証券	808,878,513	239,615	-	809,118,128
小 計	3,651,048,868	239,615	-	3,651,288,483
特定資産				
退職給付引当特定資産	119,459,281	-	3,671,143	115,788,138
医療用設備投資引当特定資産	4,325,442,820	1,709,318,314	1,228,388,758	4,806,372,376
小 計	4,444,902,101	1,709,318,314	1,232,059,901	4,922,160,514
合 計	8,095,950,969	1,709,557,929	1,232,059,901	8,573,448,997

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 からの充当額)	(うち一般正味財 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土 地	2,811,030,355	(-)	(2,811,030,355)	(-)
預 金	31,140,000	(-)	(31,140,000)	(-)
投資有価証券	809,118,128	(-)	(809,118,128)	(-)
小 計	3,651,288,483	(-)	(3,651,288,483)	(-)
特定資産				
退職給付引当特定資産	115,788,138	(-)	(-)	(115,788,138)
医療用設備投資引当特定資産	4,806,372,376	(-)	(4,806,372,376)	(-)
小 計	4,922,160,514	(-)	(4,806,372,376)	(115,788,138)
合 計	8,573,448,997	(-)	(8,457,660,859)	(115,788,138)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。（単位：円）

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
静岡県公募公債 平成15年度第3回	99,877,500	103,440,000	3,562,500
川崎市公募公債 第72回	99,991,667	101,280,000	1,288,333
福岡市公募公債 平成12年度第3回	99,991,667	101,280,000	1,288,333
東京都公募公債 第597回	99,882,833	100,780,000	897,167
共同発行市場公募地方債 第2回	99,953,750	100,750,000	796,250
共同発行市場公募地方債 第21回	99,822,907	103,750,000	3,927,093
札幌市公募公債 平成16年度第7回	109,621,417	114,653,000	5,031,583
利付国債 第272回	99,976,387	100,260,000	283,613
兵庫県土地開発公社 兵庫県保証第5回	99,885,500	100,034,400	148,900
日産自動車 第44回	99,902,776	100,070,000	167,224
あおぞら 第571回	99,879,770	99,985,700	105,930
利付商工債 第89号	100,005,919	100,230,000	224,081
銀行等保有株式取得機構 政府保証第14回	100,021,169	100,240,000	218,831
東京電力 第471回	100,137,835	100,340,000	202,165
利付国債 第48回	99,875,831	100,120,000	244,169
利付国債 第48回	99,930,456	100,120,000	189,544
利付国債 第47回	199,797,026	200,160,200	363,174
利付国債 第47回	199,712,856	200,160,200	447,344
利付国債 第48回	99,906,656	100,120,000	213,344
日本学生支援 第13回	100,050,309	100,370,000	319,691
王子製紙 第21回	99,936,600	100,154,300	217,700
不二製油 第3回	99,859,666	99,990,000	130,334
丸井グループ 第8回	100,074,075	99,830,000	244,075
イソグジ ットサービス 第5回	100,365,295	100,170,000	195,295
全日本空輸 第24回	99,969,200	100,450,000	480,800
トヨタファイナンス 第20回	100,484,061	101,382,900	898,839
国庫短期証券 第77回	199,933,600	199,980,000	46,400
国庫短期証券 第77回	99,966,800	99,990,000	23,200
国庫短期証券 第77回	99,966,800	99,990,000	23,200
国庫短期証券 第77回	99,966,800	99,999,300	32,500
国庫短期証券 第83回	99,971,000	99,993,600	22,600
国庫短期証券 第84回	99,973,800	99,990,000	16,200
国庫短期証券 第84回	99,973,800	99,990,000	16,200
国庫短期証券 第84回	99,973,800	99,993,000	19,200
国庫短期証券 第84回	199,949,200	199,980,000	30,800
国庫短期証券 第84回	499,873,000	499,965,000	92,000
国庫短期証券 第85回	599,826,000	599,880,000	54,000
国庫短期証券 第85回	299,913,000	299,940,000	27,000
国庫短期証券 第89回	199,941,000	199,969,000	28,000
国庫短期証券 第89回	299,911,500	299,953,500	42,000
国庫短期証券 第90回	199,938,800	199,960,000	21,200
国庫短期証券 第90回	99,969,400	99,982,300	12,900
国庫短期証券 第93回	99,972,000	99,976,900	4,900
国庫短期証券 第95回	99,970,600	99,970,000	600
国庫短期証券 第95回	199,941,200	199,949,200	8,000
国庫短期証券 第97回	199,940,800	199,940,000	800
合 計	6,707,786,028	6,729,512,500	21,726,472

5. ファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

	医療用器械備品	建物(付属設備)
取得価額相当額	133,578,870	13,494,600
減価償却累計額相当額	92,159,106	11,421,900
期末残高相当額	41,419,764	2,072,700

(注) 取得価額相当額は、有形固定資産の期末残高等に占める未経過リース料期末残高の割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位：円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	21,431,964	27,730,500	49,162,464

(注) 取得価額相当額は、有形固定資産の期末残高等に占める未経過リース料期末残高の割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。

(3) 支払リース料及び減価償却費相当額

(単位：円)

支払リース料	22,792,764
減価償却費相当額	20,666,514

(4) 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

財 産 目 録

平成22年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
【資産の部】	
1. 流動資産	
現 金 ・ 預 金	1,255,089,377
現金手許有高	3,606,675
普通預金	251,782,102
三菱東京UFJ銀行 六本木支店 口座番号4437857	(251,781,407)
さわやか信用金庫 六本木支店 口座番号1138687	(695)
投資有価証券	999,700,600
国庫短期証券 第77回 大和証券 渋谷支店	(199,933,600)
国庫短期証券 第85回 野村證券 東京支店	(599,826,000)
国庫短期証券 第89回 大和証券 渋谷支店	(199,941,000)
医 業 未 収 金	709,901,684
診療報酬平成22年 2～3月分等	(709,901,684)
貸 倒 引 当 金	158,146
未 収 金	1,068,239
研究受託収益等	
医 薬 品	30,628,989
貯 蔵 品	56,950
前 払 費 用	8,495,425
前払家賃	(4,668,360)
損害保険料等	(1,693,097)
研究用書籍平成22年度分定期購読料	(2,133,968)
未 収 収 益	6,015,081
基本財産運用収入未収利息	(1,770,680)
特定資産運用収入未収利息	(4,244,401)
そ の 他 の 流 動 資 産	694,863
職員費用立替金等	(25,880)
頒布用書籍残部等	(171,951)
労働保険料還付分	(497,032)
流動資産合計	2,011,792,462
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土 地	2,811,030,355
研究用土地(移転用地)	
東京都港区西麻布3丁目79番1	
1,088㎡ 平成19年9月28日取得	
定 期 預 金	31,140,000
東京三菱銀行 六本木支店 口座番号0450496	(31,140,000)
投 資 有 価 証 券	809,118,128
静岡県公募公債平成15年度第3回 日興コネクト証券本店	(99,877,500)
川崎市公募公債第72回 日興コネクト証券本店	(99,991,667)
福岡市公募公債平成12年度第3回 日興コネクト証券本店	(99,991,667)
東京都公募公債第597回 日興コネクト証券本店	(99,882,833)
共同発行市場公募地方債第2回 日興コネクト証券本店	(99,953,750)
共同発行市場公募地方債第21回 日興コネクト証券本店	(99,822,907)
札幌市公募公債平成16年度第7回 日興コネクト証券本店	(109,621,417)
利付国債第272回 大和証券 渋谷支店	(99,976,387)
基本財産合計	3,651,288,483

(単位：円)

科 目	金 額
(2) 特定資産	
退職給付引当特定資産	115,788,138
国庫短期証券 第84回	(99,973,800)
普通預金 三菱東京UFJ銀行 六本木支店 口座番号4437857	(15,814,338)
医療用設備投資引当特定資産	4,806,372,376
兵庫県土地開発公社 兵庫県保証第5回	(99,885,500)
日産自動車 第44回	(99,902,776)
あおぞら 第571回	(99,879,770)
利付商工債 第89号	(100,005,919)
銀行等保有株式取得機構 政府保証第14回	(100,021,169)
東京電力 第471回	(100,137,835)
利付国債 第48回	(99,875,831)
利付国債 第48回	(99,930,456)
利付国債 第47回	(199,797,026)
利付国債 第47回	(199,712,856)
利付国債 第48回	(99,906,656)
日本学生支援 第13回	(100,050,309)
王子製紙 第21回	(99,936,600)
不二製油 第3回	(99,859,666)
丸井グループ 第8回	(100,074,075)
イオクシ ットサービス 第5回	(100,365,295)
全日本空輸 第24回	(99,969,200)
トヨタファイナンス 第20回	(100,484,061)
国庫短期証券 第77回	(99,966,800)
国庫短期証券 第77回	(99,966,800)
国庫短期証券 第77回	(99,966,800)
国庫短期証券 第83回	(99,971,000)
国庫短期証券 第84回	(99,973,800)
国庫短期証券 第84回	(99,973,800)
国庫短期証券 第84回	(199,949,200)
国庫短期証券 第84回	(499,873,000)
国庫短期証券 第85回	(299,913,000)
国庫短期証券 第89回	(299,911,500)
国庫短期証券 第90回	(199,938,800)
国庫短期証券 第90回	(99,969,400)
国庫短期証券 第93回	(99,972,000)
国庫短期証券 第95回	(99,970,600)
国庫短期証券 第95回	(199,941,200)
国庫短期証券 第97回	(199,940,800)
普通預金 三菱東京UFJ銀行 六本木支店 口座番号4437857	(7,378,876)
特定資産合計	4,922,160,514
(3) その他の固定資産	
建 物	4,520,592,817
東京都港区六本木7丁目212 番2 外	
鉄骨鉄筋コンクリート10,673.90㎡	
昭和54年 4月11日取得	
建物減価償却累計額	3,553,041,850
医 療 用 器 械 備 品	2,087,465,825
医療用器械備品減価償却累計額	1,882,343,902
そ の 他 器 械 備 品	214,246,911
その他器械備品減価償却累計額	204,414,867

(単位：円)

科 目	金 額		
土 地	4,913,273,372		
研究用土地（移転用地） 平成19年9月28日取得			
東京都港区西麻布3丁目25番3 185.31㎡	(478,906,698)		
東京都港区西麻布3丁目25番4 6.30㎡	(16,275,681)		
東京都港区西麻布3丁目25番5 83.37㎡	(215,470,190)		
東京都港区西麻布3丁目25番10 165.58㎡	(427,914,780)		
東京都港区西麻布3丁目80番1 683.06㎡	(1,765,259,324)		
東京都港区西麻布3丁目81番1 777.54㎡	(2,009,446,699)		
建設仮勘定	693,000,000		
ソフトウェア	207,888,927		
その他の無形固定資産	159,120		
敷金	870,000		
破産更生債権等	1,086,490		
貸倒引当金	1,086,490		
その他の固定資産合計	6,997,696,353		
固定資産合計		15,571,145,350	
資産合計			17,582,937,812
【負債の部】			
1. 流動負債			
買掛金	458,632,790		
アルレッサメディカルサービス(株)	(279,370,029)		
(株)メディオ	(76,306,972)		
アルレッサ(株)	(66,052,340)		
他10社	(36,903,449)		
未払金	150,413,802		
シーメンス旭メディック(株)	(18,642,750)		
ヘルシアシステムズ(株)	(18,555,285)		
三菱化学メディオン(株)	(14,834,901)		
他91社	(48,532,996)		
3月給与未払分	(16,883,933)		
3月分法人負担社会保険料	(10,459,164)		
期末退職者退職金	(14,163,490)		
諸経費	(5,922,783)		
割賦購入資産平成22年度支払金	(2,418,500)		
前受金	1,853,200		
前受受託研究費等	(1,853,200)		
預り金	10,701,491		
3月分患者用新聞代	(22,340)		
3月分従業員負担所得税・住民税・社会保険料他	(10,679,151)		
賞与引当金	79,050,969		
その他の流動負債	70,000		
未払法人税等	(70,000)		
流動負債合計		700,722,252	
2. 固定負債			
長期未払金	59,447,435		
退職金経過措置一時金加算分債務	(59,447,435)		
退職給付引当金	587,066,238		
固定負債合計		646,513,673	
負債合計			1,347,235,925
正味財産			16,235,701,887

収 支 計 算 書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	9,550,000	9,763,903	213,903	
基本財産利息収入	(9,430,000)	(9,643,903)	213,903	
基本財産賃借料収入	(120,000)	(120,000)	-	
特定資産運用収入	28,600,000	28,522,629	77,371	
特定資産利息収入	(28,600,000)	(28,522,629)	77,371	
診療事業収入	4,274,633,000	4,230,442,053	44,190,947	
入院診療収入	(3,168,330,000)	(3,141,709,184)	26,620,816	
うち室料差額収入	(145,840,000)	(148,810,920)	2,970,920	
外来診療収入	(1,124,040,000)	(1,090,478,511)	33,561,489	
保健予防活動収入	(-)	(57,881)	57,881	
その他の医業収入	(7,500,000)	(9,110,490)	1,610,490	
査定減	(25,237,000)	(10,914,013)	14,322,987	
寄付金収入	817,000,000	2,327,100,000	1,510,100,000	
一般研究寄付金収入	(7,000,000)	(10,200,000)	3,200,000	
特定研究寄付金収入	(10,000,000)	(16,900,000)	6,900,000	
指定寄付金収入	(800,000,000)	(2,300,000,000)	1,500,000,000	
研究受託収入	66,900,000	50,779,487	16,120,513	
雑収入	22,168,000	25,103,841	2,935,841	
駐車場収入	(10,900,000)	(10,282,590)	617,410	
土地貸付収入	(7,368,000)	(10,530,174)	3,162,174	
受取利息収入	(1,600,000)	(1,403,910)	196,090	
雑収入	(2,300,000)	(2,887,167)	587,167	
事業活動収入計	5,218,851,000	6,671,711,913	1,452,860,913	

収 支 計 算 書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
2. 事業活動支出				
事業費支出	4,477,440,000	4,385,809,396	91,630,604	
人件費支出	1,484,800,000	1,458,448,241	26,351,759	
給料支出	(1,032,700,000)	(1,028,381,603)	4,318,397	
賞与支出	(267,400,000)	(227,465,648)	39,934,352	
退職給付支出	(30,000,000)	(46,954,000)	16,954,000	
法定福利費支出	(154,700,000)	(155,646,990)	946,990	
材料費支出	2,136,925,000	2,114,712,249	22,212,751	
医薬品費支出	(678,630,000)	(679,034,629)	404,629	
診療材料費支出	(1,417,295,000)	(1,406,510,473)	10,784,527	
医療消耗器具備品費支出	(28,000,000)	(15,402,662)	12,597,338	
給食用材料費支出	(13,000,000)	(13,764,485)	764,485	
委託費支出	266,376,000	230,552,038	35,823,962	
検査委託費支出	(70,000,000)	(64,352,337)	5,647,663	
給食委託費支出	(30,618,000)	(30,618,000)	-	
寝具委託費支出	(6,600,000)	(6,748,041)	148,041	
医事委託費支出	(17,800,000)	(9,049,785)	8,750,215	
清掃委託費支出	(47,508,000)	(39,736,945)	7,771,055	
保守委託費支出	(54,350,000)	(43,577,070)	10,772,930	
その他の委託費支出	(39,500,000)	(36,469,860)	3,030,140	

収 支 計 算 書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
2. 事業活動支出				
設 備 関 係 費 支 出	189,981,000	193,975,627	3,994,627	
器 機 賃 借 料 支 出	(25,000,000)	(29,068,484)	4,068,484	
地 代 家 賃 支 出	(28,686,000)	(31,554,983)	2,868,983	
修 繕 費 支 出	(28,034,000)	(26,526,605)	1,507,395	
固 定 資 産 税 等 支 出	(30,529,000)	(33,909,800)	3,380,800	
器 機 保 守 料 支 出	(77,132,000)	(72,346,795)	4,785,205	
器 機 設 備 保 険 料 支 出	(600,000)	(568,960)	31,040	
研 究 研 修 費 支 出	30,600,000	32,581,421	1,981,421	
研 究 図 書 費 支 出	(3,600,000)	(3,156,330)	443,670	
研 修 費 支 出	(27,000,000)	(29,425,091)	2,425,091	
経 費 支 出	326,738,000	328,078,988	1,340,988	
福 利 厚 生 費 支 出	(96,000,000)	(96,870,931)	870,931	
旅 費 交 通 費 支 出	(24,000,000)	(26,398,427)	2,398,427	
職 員 被 服 費 支 出	(10,500,000)	(9,263,562)	1,236,438	
通 信 費 支 出	(6,300,000)	(6,532,943)	232,943	
広 告 宣 伝 費 支 出	(4,500,000)	(3,301,251)	1,198,749	
消 耗 品 費 支 出	(22,000,000)	(20,451,453)	1,548,547	
消 耗 器 具 備 品 費 支 出	(8,700,000)	(3,414,553)	5,285,447	
水 道 光 熱 費 支 出	(74,700,000)	(71,396,858)	3,303,142	
保 険 料 支 出	(1,000,000)	(989,912)	10,088	
交 際 費 支 出	(3,000,000)	(1,621,921)	1,378,079	
諸 会 費 支 出	(1,000,000)	(660,200)	339,800	
租 税 公 課 支 出	(4,600,000)	(8,447,700)	3,847,700	
医 業 貸 倒 損 失 支 出	(200,000)	(269,550)	69,550	
貸 倒 引 当 金 繰 入 支 出	(200,000)	(158,146)	41,854	
雑 支 出	(70,038,000)	(78,301,581)	8,263,581	
受 託 研 究 費 等 支 出	41,950,000	27,390,832	14,559,168	
研 究 受 託 費 支 出	(33,250,000)	(15,255,611)	17,994,389	
特 定 研 究 寄 付 事 業 支 出	(8,000,000)	(11,906,475)	3,906,475	
研 究 助 成 事 業 支 出	(500,000)	-	500,000	
そ の 他 の 研 究 経 費 支 出	(200,000)	(228,746)	28,746	
法人税、住民税及び事業税負担額支出	70,000	70,000	-	

収 支 計 算 書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
2. 事業活動支出				
管 理 費 支 出	128,607,000	119,295,675	9,311,325	
人 件 費 支 出	123,100,000	114,377,086	8,722,914	
給 料 支 出	(102,400,000)	(100,518,659)	1,881,341	
賞 与 支 出	(5,400,000)	(5,295,530)	104,470	
法 定 福 利 費 支 出	(15,300,000)	(8,562,897)	6,737,103	
委 託 費 支 出	1,250,000	1,139,131	110,869	
経 費 支 出	4,257,000	3,779,458	477,542	
旅 費 交 通 費 支 出	(957,000)	(1,217,780)	260,780	
会 議 費 支 出	(1,600,000)	(1,436,738)	163,262	
保 険 料 支 出	(600,000)	(510,620)	89,380	
支 払 利 息 支 出	(1,000,000)	(517,020)	482,980	
雑 支 出	(100,000)	(97,300)	2,700	
事業活動支出計	4,606,047,000	4,505,105,071	100,941,929	
事業活動収支差額	612,804,000	2,166,606,842	1,553,802,842	

収 支 計 算 書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特 定 資 産 取 崩 収 入	1,157,300,000	1,229,794,187	72,494,187	
退職給付引当特定資産取崩収入	(2,300,000)	(3,671,143)	1,371,143	
医療用設備投資引当特定資産取崩収入	(1,155,000,000)	(1,226,123,044)	71,123,044	
投資活動収入計	1,157,300,000	1,229,794,187	72,494,187	
2. 投資活動支出				
特 定 資 産 取 得 支 出	300,000,000	1,700,000,000	1,400,000,000	
医療用設備投資引当特定資産取得支出	(300,000,000)	(1,700,000,000)	1,400,000,000	
固 定 資 産 取 得 支 出	1,306,776,000	1,018,270,412	288,505,588	
有 形 固 定 資 産 取 得 支 出	1,220,563,000	817,736,380	402,826,620	
建物取得支出	(1,161,400,000)	(693,315,000)	468,085,000	
医療用器械備品取得支出	(32,237,000)	(121,901,380)	89,664,380	
その他器械備品取得支出	(26,926,000)	(2,520,000)	24,406,000	
無 形 固 定 資 産 取 得 支 出	86,213,000	200,534,032	114,321,032	
ソフトウェア取得支出	(86,123,000)	(200,391,012)	114,268,012	
その他の無形固定資産取得支出	(-)	(143,020)	143,020	
長期未払金振替支出	2,420,000	2,418,500	1,500	
長期未払金支払支出	2,300,000	3,671,143	1,371,143	
そ の 他 の 投 資 活 動 支 出	1,000,000	375,740	624,260	
破産更生債権等振替支出	(1,000,000)	(375,740)	624,260	
投資活動支出計	1,612,496,000	2,724,735,795	1,112,239,795	
投資活動収支差額	455,196,000	1,494,941,608	1,039,745,608	
前期繰越収支差額	324,991,000	687,770,006	362,779,006	
当期収支差額	157,608,000	671,665,234	514,057,234	
次期繰越収支差額	482,599,000	1,359,435,240	876,836,240	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金（基本財産預金、特定預金を除く）、医業未収金、医業未収金にかかる貸倒引当金、未収金、前払費用、未収収益、仮払金および買掛金、未払金（未払法人税等を含む）、前受金、預り金を含めています。

2. 次期繰越収支差額

次期繰越収支差額の内訳は以下のとおりです。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	541,581,483	1,255,089,377
医業未収金	643,890,763	709,901,684
貸倒引当金	136,860	158,146
未収金	1,239,252	1,068,239
前払費用	7,913,879	8,495,425
未収収益	8,782,800	6,015,081
仮払金	716,285	694,863
合 計	1,203,987,602	1,981,106,523
買掛金	372,233,238	458,632,790
未払金	126,956,281	150,483,802
前受金	6,197,230	1,853,200
預り金	10,830,847	10,701,491
合 計	516,217,596	621,671,283
次期繰越収支差額	687,770,006	1,359,435,240

3. 予算額と決算額の差異について

予算額と決算額について著しく差異のみとめられる科目とその理由は以下のとおりです。

（注1）寄付金収入	……	追加寄付金収入によるものです。
（注2）受託研究費等支出	……	研究受託収入の減少によるものです。
（注3）特定資産取得支出	……	追加寄付金を積立したことによるものです。
（注4）長期未払金支払支出	……	退職者の増加によるものです。